

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

広島ガス株式会社（証券コード：9535）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
国内C P 格付	J - 1

格付事由

- (1) 広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市などを供給区域とする中国地方最大の都市ガス会社。LPG 子会社を含めて、広島県西部を中心に高いプレゼンスを有している。供給区域には多様な産業集積があり、需要構成は工業用が 5 割強を占める。原料の LNG は長期契約による自社調達のほか、大阪ガスからも調達している。
- (2) 17 年 4 月から都市ガスの小売が全面自由化されたが、現在のところ当社供給区域において一般家庭向け販売に新規参入するガス小売事業者は登録されていない。ガス販売量は既存大口需要家向けを中心に工業用の減少が続いていたが、新規需要開発の進捗もあって回復に向かいつつある。これを背景に、スライドタイムラグの影響を除いた収益は、今後も底堅く推移すると見ている。大型設備投資の一巡もあり、財務構成は緩やかな改善が見込まれる。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 17/3 期はスライドタイムラグによる収益押し上げ効果の剥落の影響が大きく、経常減益となった模様である。ただし、新規大口需要家獲得により全体のガス販売量は増加に転じた模様で、家庭用も供給区域の拡張などにより下げ止まりの兆しが見られる。新規需要開発によるガス販売量増加と継続的な経営効率化の取り組みを通じて、都市ガス事業の収益力を強化していくことが課題である。
- (4) 財務面では、17/3 期第 1 四半期の特別利益計上もあって、16 年 12 月末の自己資本比率は 43.2%と、16/3 期末の 39.0%から大きく改善した。今後は広島湾岸幹線の延伸などの投資が計画されているが、廿日市工場の棧橋機能拡大工事を終えており、大型投資は既に一巡している。もっとも、海田バイオマス混焼発電所の建設を今後決定した場合は投資額が上振れるリスクがあり、同事業への参画形態には留意が必要である。

（担当）古川 聖治・青野 恭久

格付対象

発行体：広島ガス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 7 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2005 年 3 月 3 日	2020 年 3 月 19 日	2.05%	A
第 8 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2008 年 8 月 29 日	2018 年 8 月 29 日	1.79%	A
第 10 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2014 年 9 月 5 日	2021 年 9 月 3 日	0.391%	A
第 11 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2016 年 1 月 26 日	2023 年 1 月 26 日	0.31%	A
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2016 年 12 月 21 日	2020 年 12 月 21 日	0.23%	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	130 億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2017 年 4 月 17 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：古川 聖治
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「都市ガス」（2011 年 12 月 7 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 広島ガス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル